

カニューレひも交換 気切孔や頸部の皮膚状態を保つ カニューレの安全な固定管理

必要物品

- Y ガーゼ □新しいカニューレひも □コットン(水またはお湯で濡らしておく)
- 肩枕用の丸めたタオル □軟膏 □綿棒 □ビニール袋 □気管内吸引に必要な物品
- バッグバルブマスク □新しいカニューレ

手順	留意点	
1)手を洗い、手指消毒、手袋をす る。		※カニューレひも交換は二人体 制で行う。
2)吸引をする。	痰があると交換の途中で痰が吹き出す ことがあるため、交換前に吸引する。	
3)肩枕用に丸めたタオルを首の下 に敷く。	首が伸びるような姿勢をとる。	
4)カニューレが動かないように手で 固定し、片方のひもの固定を外す。 ひもが当たっていた皮膚を観察しコ ットンで拭く。反対側の皮膚も同様 に観察し拭く。	カニューレが動くと咳を誘発したり、呼吸 が苦しくなったりするため、しっかりカニ ューレの羽の部分を手で固定する。	
5)Y ガーゼを引き抜く。 カニューレが動かないように注意し ながら引き抜く。	ガーゼ交換にはカニューレ抜去のリスク が伴うため、 バッグバルブマスクを準備しておく。	
6)気管切開部の肉芽や異常がな いか観察しコットンで拭く。軟膏の指 示があれば、皮膚を拭いた後に綿 棒で塗る。	子供が嫌がったり、暴れたりする場合 は、皮膚の観察や軟膏の塗布はカニ ューレひもの固定の後でも良い。 (安全に安心して交換ができるような方 法をとる。)	
7)新しいY ガーゼ挿入。	カニューレが抜けないように注意。	
8)新しいカニューレひもで固定す る。カニューレひもの締め具合は、 指1本がひもと首の間に入る程度と する。	固定は左右に偏りがないようにする。固 定がきつすぎると、苦痛や皮膚トラブル の原因になる。	

<p>9) 顔色や呼吸状態を観察し、痰があれば吸引する。</p> <p>使用後の物品はビニール袋にまとめて破棄する。</p>	<p>使用後のガーゼは痰や血液の汚染がないか、汚染範囲の広さ、痰の色の変化がないか確認する。</p>	<p>* 観察項目</p> <p>肺音、SPO2 値、口唇色、チアノーゼの有無</p>
--	--	---

図：日本小児医療保険協議会重症心身障害児(者)・在宅医療委員会「小児在宅医療実技講習会マニュアル」から引用

こんなときはどうする？

Q ガーゼ・カニューレバンド交換のタイミングは？

基本的に1日1回だが、痰などで汚れた場合、入浴後などでカニューレバンドが濡れた場合はその都度交換します。食後は避け、子供の機嫌が良いときに行うことが望ましいです。

Q 気管カニューレが抜けてしまったら？

- ・すぐにカニューレを入れ直しましょう。まずは速やかに気管の確保をすることが大切です。
 - ・新しいカニューレがすぐに取り出せない場合、抜けたカニューレを挿入します。
- (明らかに汚染しているときは、新しいもの、もしくは水洗いをして使用します。その後落ち着いてから新しいカニューレに入れ直しましょう。)